

2021

レース結果報告書

全日本選手権 第4戦 筑波大会



株式会社ドッグファイトレーシング

全日本選手権・レース結果

Race

全日本選手権筑波大会が終わりました。事前テストから好調な豊島怜は金曜日の練習走行でも常にトップ6入る高いアベレージを見せ初日は総合4番手。雨となった土曜日の予選・決勝でも存在感を示す事が出来ました。藤田も徐々に復調してきましたがドライコンディションでは不運もありポジションダウン。ライディングスタイルの違う二人のウェット&ドライの2ヒート。そして1000ccでは筑波初走行となった谷本と中澤のレース結果をご報告いたします。

タイトル：全日本選手権 第4戦 筑波サーキット

開催日：2021年6月18～20日

観客動員：3000人

YouTube視聴回数：ヒート1（土）85000回再生

ヒート2（日）99000回再生

リザルト：#47	豊島 怜	予選6位	決勝4位
(ヒート1) #4	藤田拓哉	予選7位	決勝7位
(ウェット) #17	谷本音虹郎	予選20位	決勝転倒リタイヤ
#31	中澤孝之	予選不通過	

リザルト：#47	豊島 怜	予選7位	決勝6位
(ヒート2) #4	藤田拓哉	予選6位	決勝13位
(ドライ) #17	谷本音虹郎	予選20位	決勝14位
#31	中澤孝之	予選22位	決勝17位

レース報告ブログ：<https://ameblo.jp/dfrboss/entry-12682058127.html>



レース報告・豊島怜 #47

Race

全日本筑波ラウンドが終わりました。事前テストから調子が良く、テスト初日は2番手で終わることができました。2日目は6番手でしたが、最後に最終コーナーで大クラッシュをしてしまい、マシンを大破させてしまいました。チームの迅速な対応によりテスト2日後の土曜日のスポーツ走行でスペアマシンの確認をしたところ、多少のフィーリングの違いはあれど、すぐに対応できました。その結果、レースウィーク初日はドライコンディションで4番手でした。予選とレース1はレインコンディションでした。調子の良かったドライからいきなりのレインコンディションで少し不安はありましたが、予選序盤は2～3番手でフロントローを狙えそうでしたが、結果は6位。初めてのセカンドローからのスタートとなったレース1は、レインコンディション。スタートが決まり3番手で1周目を通過。その後は一台にパスされて2番手争いの集団の中でレースを展開し、4位でチェッカー。自己最高位となりました。



土曜の天気と打って変わり、日曜は灼熱のドライコンディションでした。レース2は3列目7番グリッドからのスタートでしたが1周目を6番手で通過し、前のライダーを処理している最中にトップ集団に離されてしまい、追いつこうとペースを上げたところフロントが大きく切れ込みあわや転倒しかけましたがなんとか立て直す事ができました。その後は6位争いを制して6位でチェッカーを受けました。

今回のレースは両レースとも入賞する事ができ、自分の中で大きく自信がつけました。難しいコンディションの中、日頃のダートやモタードのスライドトレーニングの成果を感じる事ができました。次戦の鈴鹿も上り調子で上位フィニッシュできるように頑張ります。チーム関係者をはじめ、スポンサー様、応援して頂いた皆様、ありがとうございました。



レース報告・藤田拓哉 #4

Race

金曜日のテストから徐々にペースを上げ、自分の苦手なコーナー進入時のスピードアップ、ブレーキングポイントの変更など、課題となる部分を少しずつ変更していきました。しかし、中々上手く走れる時と、走れない時の差が大きく、大半がバラバラなライン通り、ブレーキポイントもバラバラで掴めない状態でした。土曜日は、朝から雨になり、予選と決勝両方を雨で走る事になりました。予選では、ブレーキポイントも安定していて、難しいコンディションのなかでも上手く走る事が出来ましたが、タイヤの美味しい部分を使うタイミングを使い切る事が出来ず、悔しい7位で予選を終えました。

決勝 レース1ではスタートを1度ミスをし、赤旗になった事で再度リスタートとなり、2度目の再スタートでもミスをし、後退。徐々にペースを上げ、一台ずつ抜いて上がるも、上位集団についていく事が出来ず単独の7位でレース1を終えました。

決勝 レース2では、ドライコンディションになりました。スタートから1コーナーに入り混戦の中自分の位置どりの確保をしている中で起きた2周目に後方のライダーに自分のマフラーに追突されて、転倒しそうになるのをコントロールしているタイミングでスピードダウンし、他のライダーに何台も抜かれてしまいました。その後とにかく攻める事を考えて走りました。しかし、攻める事を意識し過ぎてしまい、進入のスピードばかり早くなり、進入時のタイヤにたいする負荷がかかり過ぎてしまい転倒寸前で走っていて、なかなか後半攻めきる事が出来ませんでした。その後赤旗になり、攻めきる事ができないままレース2終了しました。

今回2レースを終えて、自分の課題は、明確で、進入時のスピードアップ、ブレーキポイントの変更及び、ブレーキの使い方。ここを先ずは、変えていかない事には始まりません。今スランプからなかなか抜け出せず、悩んで色々な事を試していますが、諦めずに次戦の鈴鹿に向けて、悩んで悩んで悩んで頑張ろうと思います。とにかく走ります。

またスポンサーの皆様、チームスタッフ様、御協力宜しくお願い致します。

レース報告・谷本音虹郎 #17

Race

筑波サーキットを1000ccで走るのは初めてでしたが思っていたよりは初走行から攻めてゆく事が出来ました。ART合同走行はドライコンディションで行われました。57秒台にはギリギリ届きませんでした。毎走行アベレージは上げることができ、ベストに近いタイムで周回することができました。

予選はウェットコンディションで行われました。ドライの時より車高を少し下げて走行しました。多めに周回して慣れていこうとしたのですがページを上げることが出来ず、20位という結果になりました。Race1の序盤は前の集団についていくことはできていましたが、ミスが増えてしまい順位を下げてしまいました。その後、自分のミスで1ヘヤの侵入で転倒してしまいリタイヤとなりました。

Race2もスタートを失敗してしまい少し出遅れましたが1コーナーで取り戻すことができました。12.13番手争いの集団でバトルしていたのですが、抜くのに時間がかかってしまい前の集団から離されてしまいました。その後徐々に追いついていたのですが17周目に赤旗中断となり14位という結果になりました。

まず、Race1の転倒してしまったマシンを日曜日の走行に間に合うように修理して下さったチームスタッフやご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。今回のウィークでは自分の甘いところや課題も見つかったので、次戦の鈴鹿に向けて準備していきます。スポンサーの皆様、チームスタッフ、応援して下さった皆様、沢山のご支援ありがとうございました。



レース報告・中澤孝之 #31

Race

去年はコロナ禍で中止となったので、今回が実質初開催となる筑波。事前テスト、金曜日の公式練習、どのセッションも予選通過順位となる21位前後で終えており、課題が残る中で予選を迎えることとなります。金曜日までドライコンディションが続いていましたが、予選は完全なウェットコンディションとなってしまいました。筑波でのレインの感触を掴むのに時間を要してしまい、レース1は惜しくも22位で予選落ちとなってしまいました。しかしながら、セカンドタイムの結果でレース2は21位のグリッドを得ることができました。土曜日のレース1は観戦するだけという悔しさを、翌日のレース2にぶつけるべく、翌日に備えます。

21位、最後尾のグリッドですが、他のサーキットと比べて2/3の台数ですのでとても少なく感じます。スタートは可もなく不可もなく。順位を上げることはできませんでしたが、20ラップもあるので焦らず前を伺います。早い段階で1台をパスしたのですが、前の集団と少し離されてしまいます。周回数が多いので諦めずに追っていたところ、第2ヘアピンで転倒車両がコースに残ってしまったことで赤旗中断。その時点で16周を終えており、レース成立周回を満たしていることからそのままレース終了となりました。結果的に17位完走、またもやあと一歩、と言うところでポイントゲットには届かない順位でした。

今回もAnija様、千葉スチール工業様、Luxuz様を始めとする協賛いただいている企業様、チームスタッフの皆さん、いつも手弁当で駆けつけてくれる昔からの仲間、応援してくださっている方々の支援により、無事完走することができました。心より感謝申し上げます。次戦は、例年は最終戦だった鈴鹿。夏真っ盛り、灼熱の鈴鹿は8耐の風物詩でしたが、今年はそこで全日本が開催されます。しっかり成績が残せるように頑張りますので、引き続きご支援の程、宜しく申し上げます。



監督コメント

Ofisyaru Comment

この週末は安定したスピードを見せた豊島がウイクもよい流れをキープして結果を掴む事が出来ました。自身にとっても大きな自信となったようです。好調な豊島怜はダートやモタードなどの練習を多く取り入れているためマシンスライドに対するコントロールが上手く、サスのセットも柔らかか過ぎると動きすぎてしまいコントロールがシビアになる為ドライでもウエットでもハード目のセットアップを好みます。一方の藤田拓哉はマシンのピッチングモーションを有効に使ってマシンの持つ旋回性を引き出す走りの為、サスの動きが出る柔らか目のセットを好みます。雨のレースでは豊島怜に軍配が上がり、ドライのレースではアクシデントもあり藤田は後退してしまいましたが確実に復活の手ごたえをつかみ始めてきました。

成長を続けるライダー、メカニック、スタッフと共に最高のレースを見せられるよう次戦も頑張ってください。次戦は7月の鈴鹿大会。レースとしては第5戦と折り返しですがチームとしては最終戦の意気込みで鈴鹿大会に臨みたいと思います。

引き続き皆様のご声援・ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

ドッグファイトレーシング
代表 室井秀明

スポンサー



竹中興運



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。2021年も頑張ります！



DOG FIGHT **犬**

株式会社ドッグファイトレーシング
代表 室井 秀明

〒271-0061

千葉県松戸市栄町西4-1195-4

TEL047-703-3030 / FAX047-308-1122

